



2023年6月30日

一般社団法人 日本自動車部品工業会に感謝楯を贈呈

～ 本学の「実務訓練」への多大なる貢献 ～

<概要>

本学では、約450名の学部4年次学生全員が、必修科目として「実務訓練（6単位）」を履修します。12月に卒業研究を終えた4年次学生を、その直後の1～2月の2か月間（8時間×34日間）、約250の国内・海外企業（公的機関含む）に派遣します。学生は、各機関で実務を経験し、現場での課題に対して試行錯誤し解決する体験を通して、課題解決力や社会人基礎力などを身につけていきます。この「実務訓練」は、本学開学（1976年）以来、産学連携教育として継続されており、これまでに約17,500人の学生が履修しています。この本質的な産学連携教育である「実務訓練」は、学生を受け入れてくれる産業界の協力なしには実現できません。

この度、一般社団法人 日本自動車部品工業会（Japan Auto Parts Industries Association (JAPIA)）に対して、実務訓練の実施への多大なる貢献に感謝し、感謝楯を贈呈しました。

<詳細>

新型コロナウイルス感染症拡大により学外への実務訓練派遣が困難な状況になったことに伴い、2021年度から、学内で企業派遣と同等の産学連携（共創）教育を提供することを目的に「PBL (Project Based Learning) 型実務訓練」を開始しました。これに際して、JAPIAは、PBL型実務訓練への協力企業との調整・取りまとめを行い、協力企業と担当教員との意見交換会を毎年開催しています。また、JAPIA内 総合技術委員会では、PBL型実務訓練の継続的な実施と改善についての討議も行われています。

これらの実務訓練の実施への貢献に感謝し、2023年6月20日、豊橋技術科学大学 実務訓練実施委員会からJAPIAへ感謝楯を贈呈しました。JAPIA 副会長・総合技術委員長 伊勢清貴氏からは「PBL型実務訓練も2年を経過し、大学の目的に合致するものが提供できていると、また十分な教育成果が上がっているとの報告を受け、良かったと思います。豊橋技術科学大学の本質的な産学連携教育である実務訓練にこれまで同様、今後も協力していきたい。」とコメントがありました。

<参考>

実務訓練の詳細についてはこちらをご覧ください。

<https://www.tut.ac.jp/university/training/>



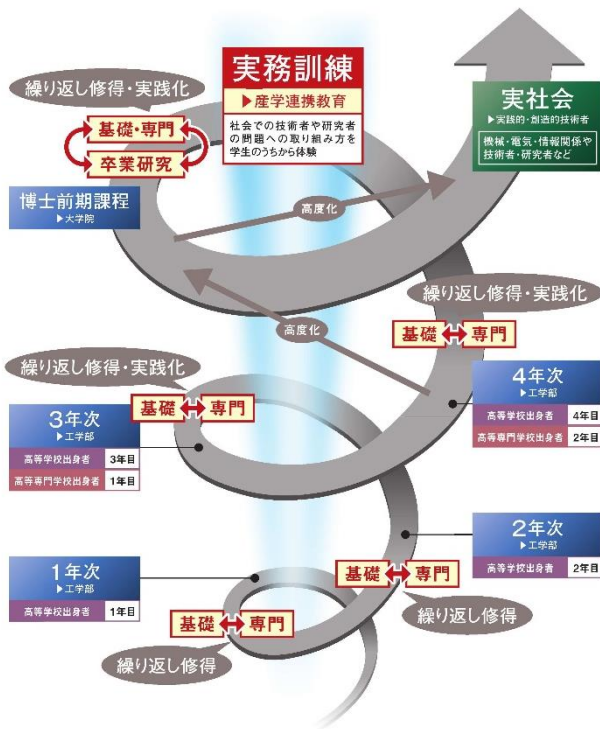
画像 1



画像 2

画像 1 : 左から、実務訓練実施委員会委員長 戸高義一、JAPIA 副会長・総合技術委員長 伊勢清貴氏、実務訓練実施委員会副委員長 江崎将人

画像 2 : 感謝楯



画像 3 : 本学のらせん型教育と実務訓練



本件に関する連絡先
 広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋
 TEL : 0532-44-6506 FAX : 0532-44-6509